

niagara remote™

Niagara Remote™は、インターネットに接続されたデバイスから Niagara ステーションへのウェブベースのリモートアクセスを提供します。追加のハードウェア、ゲートウェイ、VPN は必要ありません。

製品の定義

Niagara ベースのデバイスネットワークへのリモート接続の必要性は、Niagara Framework® ユーザーに日常的に起こります。Niagara Remote は、Niagara Cloud Suite のサービスであり、導入のトラブルシューティング、定期的なエンジニアリングとメンテナンス作業、またはグラフィカル ユーザー インターフェイスを介して Niagara ベースのネットワーク全体のすべての作動状況の確認などを行うユーザーの生産性を高めるのに役立ちます。Niagara Remote™は、追加のハードウェア、ゲートウェイ、VPN を必要とせずに、ウェブブラウザを介して Niagara Supervisor または JACE へのリモートアクセスを提供します。

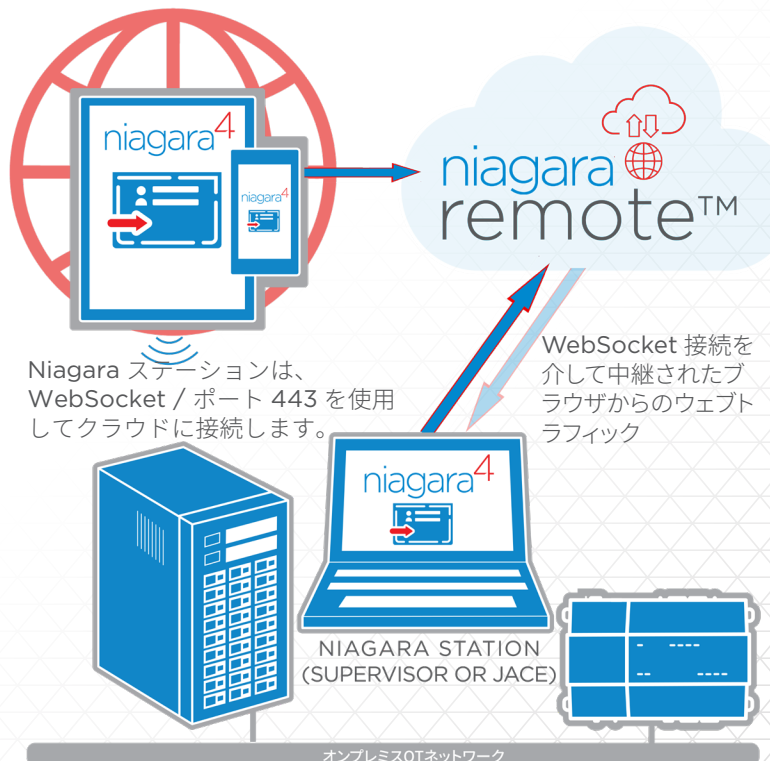
動作のしくみ

Tridium は、顧客がクラウドソリューションを展開する際に、サイバーセキュリティが重要な懸念事項であることが多いということを理解していることから、Niagara Remote™は以下の手順を実施するように設計されています。

- ▶ 使用前に、サブスクライバーは、Niagara Cloud Suite™ Management Portal を介してリモート管理の対象となる Niagara Supervisor または JACE の登録を行います。
- ▶ 登録されると、Niagara ステーションはポート 443 で Niagara Framework へのアウトバウンド WebSocket 接続を作成します。
- ▶ リモート管理を開始するには、ユーザーはブラウザから Niagara Cloud Suite™ Management Portal にログインします。
- ▶ 多要素認証 (MFA) が完了し、最新の TLS 暗号化が適用された時点で、Niagara Remote はステーションの WebSocket 接続を介してリモートアクセスセッションを確立します。

- ▶ ステーションへのリモートアクセスセッションが確立されたら、ユーザーはステーションの認証情報を使用してステーションにログインする必要があります。
- ▶ リモートセッションを終了するには、ユーザーはセッション中にアクセスしたすべての Niagara Supervisor または JACE からログアウトします。

ブラウザ搭載デバイスのいずれからでも、あらゆる Niagara Supervisor または JACE にリモートでログインできます。



ファイアウォールフレンドリー

- ▶ すべてのユーザーとステーションの通信は、ポート 443 で HTTPS / WebSocket を使用します。
- ▶ Niagara ステーションは、クラウドへのアウトバウンド リモート アクセス接続を開始します。インバウンド接続は必要ありません。
- ▶ ステーションとのすべての通信には、単一のエンドポイントアプリケーションプログラムインターフェース - `api.niagara-cloud.com` - が使用されます。

セキュリティ機能

- ▶ ステーションへのリモートアクセスには多要素認証が必要です。
- ▶ きめ細かなロールベースのアクセス制御により、ステーションレベルでユーザーアクセスを管理できます。
- ▶ すべての通信に TLS1.2 以降が使用されます。

使用条件

Niagara Remote、およびその他の Niagara Cloud Suite 製品には、サブスクリプション期間を通して各 Niagara インスタンスごとに、有効な Niagara SMA（ソフトウェアメンテナンス契約）が必要です。エンド顧客の Niagara インスタンスは、最新のサイバー脅威保護をすべて備えた、サポート対象最新リリースの Niagara Framework に更新していただく必要があります。このことは、すべての Niagara Framework 製品を対象とする Tridium の「セキュリティ・バイ・デフォルト」方針のもう一つの側面です。

Niagara Cloud Suite のオフアリングのサブスクリャーは全員、Niagara Cloud Management Portal にアクセスできます。このポータルから、サブスクリャーは以下の Niagara Cloud Suite サービスを設定してアクセスできます。

システムインテグレーターの場合：

- ▶ 顧客固有のクラウドテナントにデバイスを登録する機能
- ▶ ホスト ID によって、顧客、プロジェクト、およびサブスクリャーデバイスを説明するパートナービュー階層を作成する機能
- ▶ Niagara Recover™ をサブスクリャーしている場合、バックアップを作成および取得する機能
- ▶ 顧客ユーザーを割り当てる機能

エンドユーザー（建物所有者や資産管理者）の場合：

- ▶ 組織に登録されたデバイスを表示する
- ▶ バックアップを表示して取得する（Niagara Recover™ をサブスクリャーしている場合）

注文情報

Niagara Remote のサブスクリプションは、Niagara インスタンス（ステーション）ごとに年間定価で注文できます。

パーツコード	内容
NCS-REMOTE	コントローラーレベルのサブスクリプション
NCS-REMOTE-SUP	スーパーバイザーレベルのサブスクリプション

Niagara Remote™ の購入方法と使用開始方法の詳細については、Tridium アカウントマネージャーまたは Niagara パートナーにお問い合わせください。



Copyright © 2023 Tridium Inc. 無断複写・転載禁止。

ここで公開されている情報や仕様は、本書の公開日時点で最新のものです。Tridium, Inc. は、事前の通知なしに仕様を変更または修正する権利を留保します。最新の製品仕様については、バージニア州リッチモンドの本社までお問い合わせください。本書に含まれる製品または機能は1つまたは複数の米国特許または外国特許の対象となる場合があります。本文書は Tridium が書面で明示的に許可した場合にのみコピーすることができます。それ以外は、その全体または一部を、電子媒体または機械可読形式に転記、複写、複製、翻訳、または変更することはできません。

2023-0040JP

tridium.com/ja/ja